

交通ルールを守って
つながる笑顔



かながわの交通

交通安全年間スローガン

～一般部門A:運転者(同乗者へ呼びかけるもの)佳作～
全日本交通安全協会会長賞

2015年12月号

「ちょっとだけ」 ちょっとで済まない 飲酒事故



日本大通りと神奈川県庁（横浜市中区）



自転車はどこを走ったらいいの…？ 教えて！

自治会・企業・高齢者の集まりなどで



チリン・スクール を一緒にやりませんか。

◎県内の交通事故発生概況(平成27年11月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成27年		25,720	153	30,650	県人口	9,118,562	4,555,228	4,563,334
平成26年		27,511	165	32,580	免許人口	5,606,316	3,232,435	2,373,881
増減数		-1,791	-12	-1,930	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		-6.5	-7.3	-5.9				

(県人口は平成27年9月1日、免許人口は平成27年10月末現在)

平成27年交通安全功労者表彰式

1,576人と237団体が受賞

平成27年交通安全功労者表彰式が11月19日(木)横浜市西区の県立音楽堂で行われました。受彰者は、1,576人と237団体でした。紙面の都合で警察本部長と県交通安全協会会長の連名表彰受彰者の方々を紹介しします。(敬称略)
受彰者(団体)の皆様おめでとうございました。

神奈川県警察本部長 連名表彰
神奈川県交通安全協会会長

交通安全功労者(68人)

- 加賀町 高橋伸昌
- 南 佐藤信一、村松幹夫
- 伊勢佐木 増尾誠一、茂呂彌太郎
- 保土ヶ谷 田中有光、工藤樹
- 緑 平本誠、飯田孝行
- 青 葉 内野晃、三部恭雄、石渡良治
- 戸 塚 中村直
- 泉 押村明弘、羽賀秀昭



(表彰式に臨む石坂会長)

- 瀬谷 高橋春夫、相原樹雄、中澤龍一
- 川崎 小杉勇、早川雅夫
- 高津 持田知介
- 高津 石垣定雄
- 葉山町 高梨礼子
- 藤沢北 佐藤哲也、佐久間良次、木村聖子、山本繁、塚越明美
- 茅ヶ崎地区 水島正良、大森健一、大藤幸巧
- 平塚市 久保育郎、金子一夫
- 小田原 浜野正美、駒井

- 浩和、田中悟、草柳春次、山下尊己
- 足柄 金子伸一
- 秦野市 遠藤巖、横溝秀雄
- 深津巳佐夫、門倉美則、南良成、寺岡久雄、山口友一、小堀志津子

- 伊勢原 杉浦候二、川原正美、二見正明、山口祐二、山田満
- 厚木警察署管内 川崎勲、木間保治、熊坂哲夫
- 大和綾瀬 下田秀夫
- 相模原 鈴木登、齋須敏幸、田所昭夫、篠崎秋夫、相模原南 渋谷吉生、梅澤佐登司、嶋野猛、望月昌機、鈴木義則、廣瀬達也
- 相模原北 三枝壽美雄
- 津久井 小野寺義行

優良運転者(370人)

- 多摩 黒澤久美子
- 加賀町 市川勉、遠藤寛也、迫田慎一郎、丸岡和廣、宮田博、大熊健次、佐藤克哉、山田昇、戸倉準一、鈴木和裕、橋本尚

平成27年交通安全功労者受彰者

表彰者	種別	受彰者数
神奈川県知事	交通安全功労者(個人)	39
	交通安全功労者(団体)	19
神奈川県公安委員会	交通安全功労者(個人)	10
	交通安全功労者(団体)	7
神奈川県警察本部長	交通安全協力者(個人)	69
	交通安全協力者(団体)	25
	優良運転者(事業用)	107
神奈川県警察本部長(連名) (公財)神奈川県交通安全協会会長	優良運転者(自家用)	54
	交通安全功労者	68
(公財)神奈川県交通安全協会会長	優良運転者	356
	交通安全功労者	119
	交通安全優良団体	30
神奈川県警察本部長(連名) (一社)神奈川県安全運転管理者協会会長	優良運転者(20年)	87
	優良運転者(15年)	390
	交通安全功労者	17
	優良安全運転管理者	42
	優良運転者	40
	安全運転管理優良事業所	69
(一社)神奈川県安全運転管理者協会会長	優良安全運転管理者会	3
	交通安全功労者	17
	優良安全運転管理者	76
	優良運転者	85
計	安全運転管理優良事業所	84
	個人小計	1,576
	団体小計	237
	合計	1,813

- 山手 井上浩一
- 磯子 矢矧喜史、田淵静枝、時田厳一郎、新井智恵
- 美 枝、時田厳一郎、新井智恵
- 金 沢 穴沢一美、植草照子、小倉政弘、大宮賢二
- 南 福元タツ子
- 伊勢佐木 奥井伸雄
- 神奈川 門廻紀子、大澤敏夫、竹部洋子
- 鶴見 大伴紀子、齋藤正子、棟方正志、佐野元彦、小田信之、原田國光、福田利之、阿部瑛二
- 保土ヶ谷 山岸克己、西川尚
- 青 葉 横溝伸一、塩川善
- 夫、井上進
- 旭 草野郁大、足立哲男
- 港南 渡邊壽雄、飯田泰行、立澤義三、穂積昭憲、永井秀治、斎藤繁子、伴野浩司、伴野安江、加藤義美
- 港北 福島安雄
- 緑 志賀稔、飯高誠、宮本四洲雄、小熊利明、鈴木美知子、小瀧伯泰、望月ふじ江、荒井仙弘、上田良人、大泉信一、狩野幸広、久保政弘、佐藤一男、生方豊、塙房雄

四郎、浅海安子
都 筑 須貝紀夫
戸 塚 石井守、金子裕子、
鈴木勝春、伊東正夫、西尾
光行、松田敏
栄 川名健之、吉田二郎、
遠田稔
泉 久納美代子、渡井敏子、
新海敬吾、海原誠、佐藤健
三、菊池久志、照山公彦
瀬 谷 茂木健二、磯野
幸雄、江夏政光、小川茂、
大野美智代
川 崎 男谷武道、門井
玉衣、竹内佳子、小池千代
吉、室岡知幸
川崎臨港 河原田信、加藤
祐昭、大川修二
幸 佐藤和幸、中島治雄、
佐久間喜久子、桐原洋子、
小野良吾、櫻井善次郎、高
島栄一、佐藤健一
中 原 鹿島晴男、村上
春雄、松本善雄、清水専吉、
鈴木和義、志村良一、小野
雅史、中村洋三、斎藤朗彦、
四方輝雄、上田行男、嵯峨
野重男
高 津 石井徳治、北川

孝、呉淵模、坂上久世、嶋
崎彌榮子、多田隆、日暮辰
五郎、藤卷一也、峯田昇、
和田宏志、井出莊一
宮 前 石塚兢、稲場利
行、菊池三四男、飛田正暁、
和田美子、松井静恵、荒井
栄子、伊藤隆、東軒嘉臣、
平出裕友、三村フミ子
多 摩 山田洋子、中尾
次則、青山道子、清水勝行
麻 生 鈴木宏、滝澤星一、
稲葉晃一、滝島洋二、井上
務、中谷功多朗、中内一人、
渡辺達朗
横 須 賀 斉藤登、世戸幸子、
三木博、角田桂一、大橋昭
宏、難波友子、高橋啓子、
山本祐一郎、五十嵐政夫、
生嶋宏、市村則夫、
五十嵐与惣美、西原康昌、
山村武、桑原和久、田面幸
春、島田清美、吉國みどり、
木内晴美、中山庄治、岩澤
アケミ、犬島淳、高島英子、
本橋政昭
田 浦 齊田芳久、中川守
浦 賀 田村輝人、吉岡栄、
小金澤戈治郎、長川二美枝、

新倉裕、新井清次、小菅武
四郎、佐藤敏美、下平睦男、
三浦繁吉、大川博、今西理、
高井みどり、廣瀬義孝、川崎
実、南雲武、中川眞由美、
竹山章子、岡崎隆男、遠藤
安重、西ヶ谷匡彦、南隼夫
三浦市 戸高みさ子、菅原
晴美、小川光男、砥上眞吾
葉山町 佐藤彰、佐竹寛
子、谷藤興一、石井通義
逗子市 誉田悦子、平野
一臣
鎌 倉 遠山恭一
藤沢市 大塚力、山邊雄三、
菊地伸男、間篠俊夫、
横山哲雄、小野直司
茅ヶ崎地区 皆吉二三也、
千代田巴、大藤みどり、新
倉由紀子、小泉攝也、坂本
明夫、成田行夫、鈴木稔、
鈴木フサ子
平塚市 前田正勝、兼平
佳子、三橋崇史、升水浩貴、
中村一弘、海藤英明
小田原 大日向吉郎、瀬戸
みのり、秋葉一彦、知野真
弓、原四郎、竹谷奉子、
冲山忠男、本多寛、後藤安

夫、清水正義、小島章裕、加
藤康夫、長郷善信、鈴木善
作、平田京子、椎野勝美、谷
岡春儀、山本雅徳、大谷俊
夫、河合伸市、生駒實晴
足 柄 永田秀雄、小島實、
廣川國勝、千葉勝三、原与
志雄、渋谷美保子
秦野市 山口徳造、北村
一男、松浦國芳、田中京子
厚木警察署管内 山口孝雄、
及川勝次、高橋米博、小野
勝儀、岡嶋政義、猪股芳子、
谷口義人、吉邑高志、成瀬
豊、村木まり子、大橋武、
工藤次男、今喜代美、小宮
永津子、藤江利幸、澁川眞
三、高橋昭雄、櫻井登美枝、
平野一美、下原文男、筒井
亨、板橋伸一、山口秋男、
齊藤政野、出口和男、鈴木
忠一、門倉政治、小峰美智
子、森 多加樹、石塚三郎、
矢後俊生、野中俊男
大和綾瀬 小林健次、小野
昌昭、松本博光、清水賢治、
嶋下末雄、滝沢俊雄
座 間 北見志のぶ、加
藤利恵、近藤フサイ、田中

伸二、石丸照清、漆原サキ、
松下エツ子、瀬崎洋一、大
矢利世、山田裕民、塩井敬
子、北見佳房、安藤史郎
海老名市 大久保義一、井
上時雄、川口久美子、古郡
昭雄、寒河江信栄、小野光
正、難波淳一、岡本友司、
石井清、築地幸子、河合洋
子、小俣直志、平井照江、
佐藤恒夫、安西繁二、山村
洪一、湯原豊、星讓、大沼
安男、千葉時雄
相模原 篠崎光男、鶴木
綾子、高橋博、星政雄、海
野重男、高尾稔、小山司、
深澤中、齋藤まゆみ、高橋
文江、庄司ふみ、壁島信雄、
高橋陽子、望月修藏、矢口
泰司
相模原南 山崎幸造
相模原北 島典子、関口忠彦、
一ノ宮昭憲、三好朝光、加
藤義男
津久井 細川富子、岩田
英政

年末の交通事故防止運動

● 実施期間

平成27年12月11日(金)～12月20日(日)の10日間

● 目的

年末特有の交通量や飲酒の機会の増加などにより、交通事故が多発することから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

● スローガン

無事故で年末 笑顔で新年

● 重点

- 1 飲酒運転の根絶
- 2 歩行者(特に高齢者)と自転車の交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



年末年始の業務案内

● 試験コース開放等のご案内【県交通安全協会】

平成 27 年 12 月										平成 28 年 1 月								
19	20	21	22	23	24～25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4～8	9	10	11
土	日	月	火	水	木～金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月～金	土	日	月
受付業務	コース開放	受付業務	受付業務	コース開放	受付業務	受付業務	コース開放	受付業務	休日 (受付・コース開放休止)					受付業務	コース開放	受付業務	コース開放	

● 運転免許手続きのご案内【運転免許試験場、警察署】

年末年始は大変混雑します。手続きはお早めに!

受付は、運転免許試験場・警察署とも

年内は **12月28日(月)** まで行います。

新年は **1月4日(月)** から行います。

ご来場の際は、電車やバスなどの交通機関をご利用ください



平成 27 年 12 月				平成 28 年 1 月			
28	29	30	31	1	2	3	4
月	火	水	木	金	土	日	月
通常業務最終日	← 業務休止 →					通常業務開始日	

① 平成 27 年 12 月 29 日 (火) から平成 28 年 1 月 3 日 (日) までの間に運転免許証の有効期間(誕生日の1か月後)が満了する方は…

平成 28 年 1 月 4 日(月)まで有効 です。

《問い合わせ》 ● 神奈川県警察ホームページ <http://www.police.pref.kanagawa.jp/>

● 運転免許試験場 ☎045(365)3111

※ 間違い電話にご注意下さい。

交通事故の悲劇に学ぶ ③②

●「『時』が解決し得ないもの」 会社員(37歳)

「キーン」と響き続ける耳鳴りと火薬のような臭いの中、時が止まりました。一瞬の出来事に思考が停止したのか、余りにも鈍く頭が回転した為に処理が追いつかなかったのか、運転席の中で私は、体も心も動かす事が出来ず、ぼんやりとした時間の中を漂っていました。

しかし、開いたエアバッグ、割れたフロントガラスの向こう側に大破した車両があるのを確認した途端、時間はもの凄いい速さで動き始め、我に返った私はシートベルトを外し、外へ飛び出しました。

平成2X年の師走、昼の12時35分頃、片側2車線の幹線道略を職場に向けて走行中のことでした。前の晩、不具合のため初期化したスマートフォンの様子が気に入り、助手席に手を伸ばし、視線をそらしたまま交差点に進入してしまい、取り返しのつかない事故を起こしてしまったのです。

大破した車両に近づくと、運転席でぐったりしている男性が目に入りました。意識は有り、こちらの呼び掛けにも答えておられました。早く助け出さなければとドアを開けようとしても、運転席側にくの字に折れ曲がったドアはびくともしません。携帯から救急隊に連絡し、到着するまでの間「大丈夫ですか!」「もうすぐ救急車が来ますからね!」「ごめんなさい!ごめんなさい!」と呼び掛けることしか出来ませんでした。

間もなく被害者の方は搬送され、警察の現場検証の後、私のために駆けつけて下さった会社の社長と共に搬送先の病院に向かいました。病院に到着すると、事故現場にも来ておられた被害者のご親族の方から、被害者の方の容体が急変し、これからドクターヘリで他の病院へ搬送されると知らされました。全身の血の気が引き、「人殺し」という言葉が全身を駆け巡る中、「どうか、どうか命だけは」と祈りながら次の病院へ向かいましたが、私が到着してまもなく、被害者の方は亡くなりました。私は取り乱してしまい記憶も曖昧なのですが、「お父さんは?」「お父さんどうしたの?」という娘さんの言葉と、言葉にならない程のショックで私を見つめる奥様の顔が今でも鮮明に脳裏に焼き付いています。

私の身勝手な行動によって、一瞬のうちに尊い一人の



命を、そしてご遺族の方から最愛のご主人様、大好きなお父さんとの、温かく穏やかな日々を奪ってしまったのです。ご遺族の無念さ、憤り、淋しさはどれ程のものだろうと考えると、心が痛く悔やんでも悔やみきれない思いに苛まれます。

現在、私は禁錮2年の判決を受け、市原刑務所で償いの日々を送っていますが、自分が今後どれだけ反省し償いの人生を送っても、亡くなられた被害者の尊い命をお返しすることは出来ません。そして加害者である私が、辛く淋しい思いで生活されているご遺族のお気持ちに寄り添うことも出来ません。償いについて考える時、いつもこの事が私の思いの前に立ち塞がり、自責の念に押し潰されそうになります。これらの事を「時」は決して解決してくれません。一生涯悩み、考え続けなければならないのです。

これからの人生、ほんの僅かではあってもご遺族の気持ちにより添った償いを形に出来るように、また、こんな私を健気に支え続けてくれている妻、そして家族を二度と悲しませることがないように歩んでいきたいです。

残された受刑生活が、その為の滑走路となるように、強い気持ちで一日一日を努めて行きたいと思っています。

最後になりましたが、この手記を読まれた皆様、ハンドルを握る手に愛する家族の重みを感じて下さい。フロントガラスの向こうに広がる穏やかな日々を、自分の運転する車が切り裂いてしまいかねないという事実の重さを感じて下さい。…どんなに時が過ぎても癒える事のない苦しみを、与え、背負う前に……。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第48集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 楠原輸送(株) ————— 横浜市神奈川区東神奈川
- 川崎運送(株) ————— 川崎市川崎区元木
- 川崎商工会議所 ————— 川崎市川崎区駅前本町

二輪車安全運転・自転車安全教育推進委員会の開催

11月12日(木)県協会会館において、二輪車安全運転推進委員会(14:00~)及び自転車安全教育推進委員会(15:00~)が開催されました。

両委員会とも西村委員長の挨拶に続き、県警察本部交通総務課担当者から交通事故情勢について説明がありました。

特に二輪車の関係する交通死亡事故については、全死亡事故に占める割合が全国平均の約2倍であること、年齢別では20代が一番多く、免許取得後10年以上の方が5割以上で、通行目的では通勤が約半数近いことなどの特徴説明がありました。自転車の委員会では自転車事故の実態説明の後、自転車関連の道交法改正の経緯、さらには「自転車運転者講習制度」に関して違反の種別、取締り件数、他都府県の講習実施状況等について説明がありました。

次いで委員会事務局から平成27年中の所管業務(二輪車安全運転大会、交通安全自転車大会等)の取り組み状況が報告され、来年度も二輪車、自転車に係る大会の開催及び各種講習等を実施することとし、その他出席した横浜市交通安全協会及び川崎市交通安全協会の方から活動の説明をいただきました。



※平成28年度大会開催予定

- ①第47回二輪車安全運転神奈川県大会 ————— 平成28年6月4日(土) 神奈川県運転免許試験場
- ②第47回交通安全子ども自転車・第5回高齢者自転車神奈川県大会 —平成28年7月2日(土) 横浜文化体育館

自転車安全教育指導者講習会

神奈川県自転車安全教育推進委員会(西村昇委員長)は、県警察交通安全教育隊の協力を得て11月6日(金)、藤沢市の辻堂海浜交通公園で自転車安全教育指導者講習会を開催しました。当日は交通指導員、地区交通安全協会職員、市役所職員等45名(うち女性12名)が参加しました。

午前の講習では、室内でチリリン・スクールの実施要領、自転車事故の高額賠償問題、TSマーク等について座学講習を行ってから、屋外に場所を変えて見通しの悪い交差点の安全確認など基本走行に係る実技指導を行いました。

午後の講習では、交通安全教育隊隊員による「傘さし運転」、「携帯電話を使用しながらの運転」等を想定した片手運転スラロームの「危険運転」を体験するなど応用走行についての実技指導が行われました。

講習の最後に、検討会、質疑応答が行われた後、当協会菅原交通安全活動推進部長から受講代表者に修了証、認定証、チリカが交付されました。

指導員バッチは、後日交付される予定です。



現役の二輪車安全運転指導員に対する講習会

県警察では「二輪車安全運転講習」として、二輪車普及安全協会では「グッドライダーミーティング」として、運転初心者をはじめリターンライダーやベテランなど若者から中高年まで広く参加者を募り、毎年計15回くらいの講習会を実施しています。

その際、二輪車安全運転特別指導員や同指導員が計画的な安全マインドの醸成や安全運転技能を指導して二輪車の交通事故防止に貢献しています。また、二輪車安全運転県大会では、審判員など大会運営に協力するとともに、全国大会に向けてもその訓練指導とサポートでその指導力を発揮しています。そうした指導員を対象とした講習会を11月23日、厚木中央自動車学校で初めて開催しました。本講習会は、指導員の果たす役割を再認識し、指導に一体性を持たせ、指導員同士の情報の共有と指導力の向上を図るため実施したもので、「指導マニュアル」に基づきコース設定や指導のポイント等指導要領について、参加した22名の指導員に座学、実技を交え、更にミーティングで反省・検討を加えるなど実戦的講習を行いました。





厚木警察署管内交通安全協会
会長
笹生 圭一さん



厚木警察署管内交通安全協会は、神奈川県を中心部に位置する厚木市、愛川町、清川村を管内に持つ厚木警察署と同じエリアを担当していますが、そこには東名高速道路、小田原厚木道路、圏央道、国道246号線等首都圏を結ぶ重要な幹線道路が走っており、その沿線には工業団地が存在し、会社・工場等が多く進出しています。そのため物流が盛んで、それに加えて朝夕には小田急線本厚木駅に集中する交通流も激しく、交通量も非常に多い地域です。

今回は、本年5月、この発展を続ける広大な地域を担当する交通安全協会の会長として就任された笹生会長を紹介いたします。

笹生会長は、厚木市下川入に生まれ育ち、地元の事務機メーカーに就職、34年間勤務されましたが、父親の健康上の理由から早期に退職して不動産管理会社を立ち上げ現在に至っています。会社勤めの傍ら、地元消防団を10年間経験してポ

ランティア精神を培った後、地域の有力者に勧められて平成9年に厚木市委嘱の交通安全指導員となり、各種イベントでの交通整理や児童の見守り活動などの現場活動を積み重ね、平成21年からは当協会の副会長に就任していました。

交通安全活動に従事して20年近くになりますが、ここまでやってこられたのも良き先輩に巡り合ったおかげとのこと。27年間務めた前会長からバトンタッチを受けて第13代会長に就任した今、率直な気持ちは「プレッシャーは大きいですが、まずは交通安全活動の原点、基本に戻って、いろいろな関係者や協力団体と連携しながら着実にやっていきたい」と抱負を語ります。

これからは、「自分が良き先輩として、若い人たちの指導や協会の運営、各季の交通安全運動などの活動をリードして頑張っていかなければ……」と内なる意気込みを話してくださいました。特に、将来を担う子ども

の自信、指導者、関係者の誇りとなったところで、自治体、警察、学校、保護者などとの一体感が増したことは記憶に新しく、今後とも自転車大会への参加を通じた訓練など自転車事故の防止に積極的に取り組むことと述べています。

会長が大切にしていることは「互譲の精神」で、これは交通安全だけでなく人間として生きていく中でも大事なものであるとして、生活信条としています。

笹生会長は現在、当協会会長のほか厚木法人会の理事、J A厚木の地区組合長等多くの要職に就かれ大変お忙しい日々を送っています。これからも健康に留意され、ご活躍していただきたいと思

います。(取材協力・厚木警察署管内交通安全協会)

こんにちは
「瀬谷交通安全協会」です

瀬谷交通安全協会は、瀬谷区、瀬谷警察署の発足に伴い昭和47年4月に戸塚交通安全協会から分離独立し、瀬谷警察署内に事務所を構えましたが、その後平成4年4月に瀬谷警察署敷地内に協会事務所を建設しました。人口の増加とともに、本部や支部の組織体制を再編・整備しながら、現在は、区内を14支部体制として各季の交通安全運動等年間の行事計画に基づいて推進しています。

各季の交通安全運動以外の主な活動としては、毎月1日、15日の交通安全日の交通指導員を中心とした児童等の「見守り活動」は当然のこと、新入学(園)児童には「歩き方教室」、更には支部員の協力のもと区内11小学校に対する「はまっこ交通安全教室」を開催して1、2年生対象「横断歩道の歩き方」、3年生対象「自転車の乗り方」を指導しています。

中学校や高校の生徒に対しては、ビデオやチラシを活用して自転車運転者講習制度の対象となる危険行為や自転車事故による高額賠償事例などを説明するほか、実技では「スケアードストレート」等も取り入れて、関心を示さない生徒には自ら直面するかもしれない身近な問題として考えていただけるように「マナーアップ」を指導しています。

その他警察署の指導をいただき、多発する高齢者事故の分析資料や反射材を活用して「高齢者交通安全教室」を開催したり、区内を走る相模鉄道の瀬谷駅、三ツ境駅の駅前広湯では乗降客や駅利用者に対して、事故の特徴の一つである高齢者の横断歩行中の事故防止などを呼びかけています。また、交通安全協会が総動員体制で取り組む行事としては、毎年1月の区民マラソン大会があり、区内走行コースの交差点など要所に配置して交通整理を行うなど、警察官や他のボランティアの方々との大会の円滑な運営に協力するほか、毎年10月に開



催される区民まつり(「瀬谷フェスティバル」)では交通安全ブースを設け、交通安全グッズを配布しながらミニ白バイの体験乗車コーナーに子どもや保護者を引き寄せ、高齢者を含めた区民の方にクイックアームや自転車シミュレータなどゲーム感覚で学ぶ交通安全資機材を活用したりして、交通安全啓発キャンペーンを展開します。

瀬谷交通安全協会では、これからも警察署のご指導と区や関係する団体などのご協力をいただきながら、会長、役員、各支部会員、事務局が一丸となって「交通安全」に取り組んでいく所存です。(水谷 記)

地区交通安全協会の活動紹介



保土ヶ谷

和町商店街において、関係4団体の協力を得て、チラシやグッズを配布しながら迷惑駐車(輪)の追放呼びかけなど、違法駐車追放キャンペーンを実施しました。



都 筑

地下鉄センター南駅前広場において開催された区民まつり会場において、警察署と連携し、のぼり旗を掲げチラシを配布しながら飲酒運転根絶を呼びかけました。



川崎 臨 港

自転車事故が多発し、飲酒運転が懸念されることから、地区内の会社2社の従業員計90名を対象に「飲酒運転根絶、無事故の法則」と題して交通安全教室を開催しました。



三 浦 市

「みうら市民まつり」会場に交通安全ブースを設け、ミニバイクの乗車体験を行い、チラシなどを配布しながら自転車事故の防止を呼びかけました。



津 久 井

郵便局前において、警察官とともに看板を掲げ、訪れる高齢者に反射材を配布しながら振り込め詐欺防止と高齢者事故防止キャンペーンを行いました。

加 賀 町

横浜公園内で開催された区民まつり会場に、交通安全ブースを設け、クイズゲームでの反射神経テストや交通安全ビンゴゲームを行いました。



青 葉

10歳の小学生が交通量分散な住宅街の信号機のない交差点で、ワゴン車にはねられて犠牲になったことを受けて、警察署や道路管理者との合同現場診断を行いました。



横 浜 水 上

県下の死亡事故多発を受けて、開港広場前交差点において、「ストップ・ザ・死亡事故」ののぼり旗を掲げ、啓発物を配布しながら交通安全を呼びかけました。



浦 賀

警察署、安全運転管理者者等と合同で、京浜急行北久里浜駅前において、チラシや反射材を配布しながら、高齢者事故防止キャンペーンを実施しました。



伊 勢 原

「道灌まつり」において、警察署長交通安全協会会長がオープンカーに乗り、後ろに母の会や安全協会関係者が続いて「高齢者を交通事故から守ろう」などと呼びかけました。



交通安全街頭活動

インフォメーション

- 第56回交通安全国民運動中央大会 ・1月14日(木)グランドヒル市ヶ谷
・1月15日(金)日比谷公会堂
- 公益財団法人神奈川県交通安全協会賀詞交歓会
・1月28日(木)ロイヤルホールーヨコハマ